

日本バイオインフォマティクス学会第 13 回評議員会議事録

日 時：平成 17 年 6 月 15 日(水) 16:00~18:00

場 所：東京大学医科学研究所総合研究棟 8 階会議室

出席者：江口(会長)、中井(副会長)、松野、蓑島(評議員・幹事)、秋山、有田、小森、小長谷、五斗、
榊原、藤、西川、馬見塚(評議員)、鈴木(議事録)

委任状：金久、森下、清水、高木、富田、輪湖(評議員)

[報告事項]

会長より第 17 回幹事会の報告があった。

1. 旅費・謝金規定について

研究会講師などへの講演謝金は 1 万円を基本とし、源泉徴収する。また、アルバイト代は ¥7,500.-/hr とする。旅費は、航空機使用の場合、予め金額を申告する。また、新幹線利用の場合は、「のぞみ」利用を基本とし、都内は一律¥1,500.-とする。但し、事務局より都内についても実費を支払うことにしてはどうかとの意見が出ているので、今後検討したい。(江口)

2. 税金関係

研究会等の講演謝金について源泉徴収の必要があるので、今後、謝金の 10%を所轄税務署に納付する。(鈴木)

3. カリキュラム

カリキュラム第二版作成委員の選出を金久幹事(カリキュラム委員会委員長)に依頼している。カリキュラム第一版は文部科学省や経済産業省の人材育成プログラムで活用されてきた。その成果も踏まえ、第二版を今年中に報告する予定である。(江口)

4. ニュースレター

松野担当幹事より報告があった。

ニュースレター規定案を幹事会でまとめたので報告する。次々号より賛助会員からの広告を募り、増ページする予定である。(松野)

著作権が執筆者にあるという記載には問題はないか。再利用などの障害にならないか。(小長谷)
著作権は学会に委譲しないが、紙面・電子媒体で利用をすることもあるという表現ではどうか。

(松野)

幹事に著作権についての表現に訂正を加えてもらい、後日評議員にメールで連絡することとした。(江口)

松野担当幹事よりニュースレターVol.11 編集の報告があった。

ニュースレターというには量的にも多く、中途半端な存在になっていないか。学会誌にするといった大きな展望があっても良いのではないか。(有田)

マンパワー不足という問題があり、現状では学会誌化の実現は難しいが、展望については議論していきたい。(江口)

「ニュースレター」を「会報」や「バイオインフォマティクスレター」などに変えてはどうか。もっとアカデミックな情報を盛り込むのも良いと思う。(有田)

今後、議論していきたい。(江口)

5. 研究会活動計画

平成 17 年度の各研究会の活動計画について事務局鈴木より報告があった。

システムバイオロジー研究会と生物情報ネットワーク研究会は年 4 回研究会を開催予定、創薬イ

ンフォマティクス研究会とオントロジー研究会は2回開催予定である。

6. 会員の学会活動への参加について

バイオインフォマティクスの教育・研究の振興、最終的には新会員の獲得のため、地域部会の発足を検討中である。九州地区では、九州大学の久原氏と藤評議員に企画を依頼した。(江口)
九州地区では、年4回ほど講演、ポスター発表、懇親会を盛り込んだ企画の実現を検討中である。(藤)

地方での学会活動の充実だけでなく、wet系の情報担当者の会員を増やすことも検討すべきである。学会として、どこまでの人を対象にすべきかを考えていく必要がある(小長谷)
バイオインフォマティクスをツールとして使用している人についてはどうすべきだろうか。(中井)

学会のあり方・方向性を再検討しながら今後も評議員会の場で議論を続けて行きたい。(江口)

7. JBiC バイオインフォマティクス技術者認定試験

本年度も、問題作成に当たり学会も協力していきたい。今後役員に問題作成を依頼することもあるので、協力をお願いしたい。(江口)

近日中に二級の問題作成委員を推薦する必要があるので、各位協力願いたい。(秋山)

技術者認定試験への具体的協力については秋山評議員に一任したい。秋山評議員には、適宜学会との連携をとりつつ、よろしく願いたい。(江口)

8. バイオインフォマティクスロードマップの作成

学会活動の指針について今後議論する必要がある。各位の協力をお願いしたい。(江口)

9. 新ホームページのオープン

新学会ホームページの構成はほぼ完成している。東大医科研でのサーバの準備が整い次第移行する。(松野)

事務局鈴木より新ホームページのデモが行われた。

[議題]

1. 平成16年度収支決算報告

事務局鈴木より平成16年度の収支決算報告があった。
→承認された。

2. 平成17年度予算案

事務局鈴木より平成17年度の予算案が提出された。
新しい活動や企画の案があればいつでも意見をいただきたい。活動費用も申請があればできる限り支出したい。現状、本案にて進めて良いか。(江口)
→承認された。

[その他]

1. 東京大学農学部アグリバイオインフォマティクス人材養成プログラムに関する報告

平成17年5月24日、学会への協力を依頼するため、江口、中井両名が東京大学農学生命情報科学教育研究ユニットの清水教授と寺田特任助教授を訪問した。本学会内の「アグリバイオインフォマティクス研究会」の立ち上げへの協力を得ることができた。(江口)

→研究会の立ち上げについて、承認された。

2. バイオインフォマティクス事典編纂について

中井副会長より報告があった。

平成 17 年 9 月出版に向けて鋭意編集中である。各位のご協力に感謝したい。(中井)

3. AASBi 委員の推薦について

現在当学会より 3 名の委員を出しているが、会長の交代を機に新委員を推薦することにしたい。

詳細は後日担当の宮野幹事よりメールにてお知らせする。(江口、中井)

最後に、江口会長より簡単な就任の挨拶があった。

以上。

鈴木麻子 (印)